



令和6年(2024年)3月25日 公表
 令和5年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価
 ケンサキイカ(日本海・東シナ海系群)

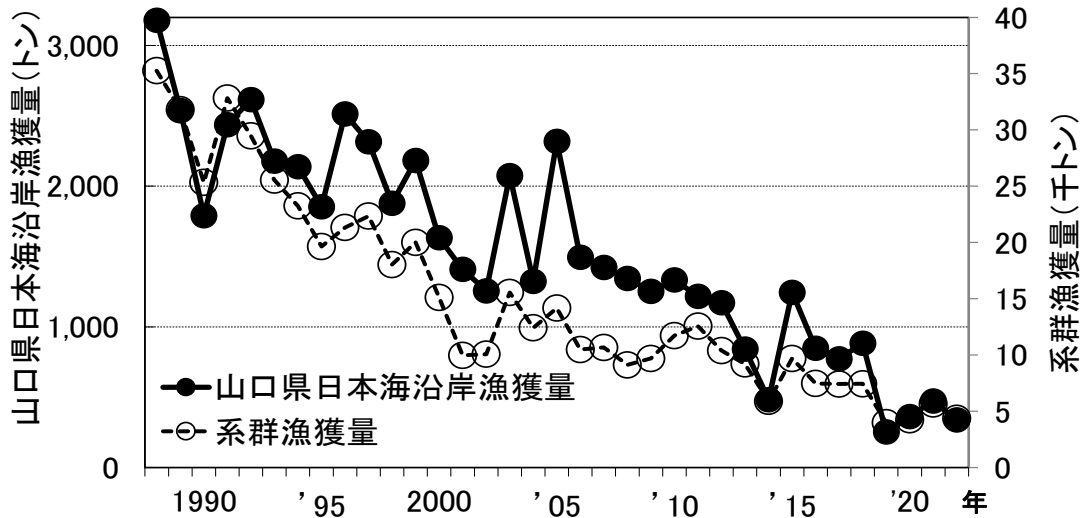


図 山口県日本海沿岸(山口農林水産統計年報、2007年以降は推定値)及び日本海・東シナ海系群((国研)水産研究・教育機構資源評価報告書)のケンサキイカ漁獲量の推移

【漁業】ケンサキイカは主に春から秋にいか釣り漁獲される。春から初夏には大型の成熟群、秋には小型の未熟群が主に漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海沿岸の漁獲量は、近年では2005年をピークとして減少し、2014年には483トンに低下した。2015年には漁獲量は1,246トンと一旦回復したもの、その後再び減少し、2022年には340トンであった。日本海西部～東シナ海における漁獲量は、1988年には3.53万トンだったが、これ以降2000年代初めにかけて減少傾向を示した。2001年以降は1万トン前後で推移していたが、2019年と2020年に大きく減少した。2022年の漁獲量は4,384トンと過去3番目に低い値であった。

【資源状態】1988年以降の系群の漁獲量の最大値と最小値の間を3等分して資源水準を判断し、2022年の漁獲量から水準は低位と判断された。また、CPUEを基に算出した資源量指標値の直近5年の推移より、資源動向は横ばいと判断された。

資源の水準・動向		2022年漁獲量 (千トン)	2024年ABCtarget (千トン)	2024年ABClimit (千トン)
水準	動向			
低位	横ばい	4.4	3.7	4.6